

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/5/1(月)

創世記36:20-43

かつてセイルの地はフリ人セイルとその子孫たちが住み、その地を支配していた。20-31節にその名前が記されているよ。そして彼らに代わってセイルの地を治めるようになったのが、エサウの子孫であるエドム人だった。32-43節に王や首長の名前が記されているね。申命記2:5「わたしはエサウにセイルの山を、彼の所有地として与えたからである。」を読むと、このことも神様の御手の中にあることが分かるね。

神様は全世界を治めるお方だということ覚えよう！そして、神様の良いわざがこの世界で行われたために、私たちはどう応答すれば良いかを考えよう！

2023/5/2(火)

創世記37:1-17

ヤコブの息子ヨセフを中心に、ヤコブと息子たちの家族模様が描かれているね。ヨセフはどんな人物と書かれているかな？ヤコブや兄弟たちとの関係で問題となっていたのはどんなところだろう？また、父ヤコブの問題はなんだっただろう？

ヤコブ、ヨセフ、兄弟たちそれぞれに、弱さや愚かさがあるね。だけど神様は彼らが完璧だから用いるのではなく、その弱さや愚かささえも神様のご計画の中で用いるお方なんだ。私たちが用いながら訓練し、整えてくださる神様に信頼して歩もう！

2023/5/3(水)

創世記37:18-36

兄弟たちはヨセフに強い殺意を持ち、殺そうとした。ルベンは助けようと試みたが、ヨセフは穴に投げ込まれ、最終的にイシュマエル人に銀貨20枚で売られてしまった。兄弟たちはヨセフの長服をやぎの血に浸し、ヨセフが殺されたように父を欺いた。その後ヨセフはエジプトのファラオの家臣に売られた。ヨセフは初めて兄たちの自分に対する憎しみを知り、衝撃を受けたであろう。

このように、家族のさまざまな感情の渦の中にヨセフは巻き込まれた。しかし、ヨセフは死から逃れることができた。それは背後におられる神のみわざと言える。

私たちの人生にも、共にいてくださり、さまざまな危険から守ってくださる主に感謝しよう！

2023/5/4(木)

創世記38:1-11

1節。ユダは兄弟たちから離れて行ったとある。このユダとは、ヨセフを殺そうと考えた兄弟たちが長子ルベンに止められたことから、売ることを提案した人物である。ユダには三人の息子が産まれたが、(6.7v)長男エルが結婚した相手と子を残さずに死んだことから、(8v)次男オナンが義弟として兄の子孫を残すために結婚(当時の習慣によるもの)したが、兄の子孫を残そうとはしなかった。そして殺された。

長男エルも次男オナンもただ死んだのではなく、主の目に悪きことをおこなったので主に殺された。以降の箇所でもユダは神様に愛されたヤコブの息子とは思えないようなことが起きる、、、。

当時との文化の違いはあれど、神様は常におられる。神様の目にかなう選びをしているだろうか？今できる神様の愛を流してこう！！

2023/5/5(金)

創世記38:12-30

●24-26vを読もう。ユダは妊娠したタマルに激怒した。ユダは正しかっただろうか？隠している罪はなかったか？



●きみはどのようにして自分の怒りを管理しているかな？「怒り=悪」じゃない。でも「自分は正しい！」と思わずにすることはないかな？



●ユダもタマルも神の御心からズレていた。僕らは自分で正しくなれない。どうしても神様が必要なんだね。

2023/5/6(土)

創世記39章

ヨセフは兄弟に裏切られて、たった一人でエジプトにやってきた。でも、ヨセフは神様がともにいてくださって1人じゃなかった。神様はヨセフがどこにいても共にいて祝福したので、ヨセフのすることは成功していったね。

兄弟に売られた時も、侍従長の奥さんに誘惑されて濡れ衣を被せられた時も、きっとヨセフの心は傷ついていたよね。だけど、神様の恵みと祝福を体験して、主が自分と一緒にいることを実感することができたんだ。

今、神様が自分に与えてくれた祝福を思い出してみよう！そのことを通して、神様は何を語りかけてくださっているかな？考えてみよう！

2023/5/7(日)

創世記40章

ヨセフは監獄で神様から祝福を受けたが、監獄からすぐに出られたわけではない。彼は監獄から出られることを願っていたはずだ。そんな時、エジプト王の献酌官長と料理官長が過ちを犯し、ヨセフと同じ監獄に入った。ある夜、二人は夢を見て、その夢には意味があった(5)。ヨセフは夢の内容を解き明かし、それはその通りの出来事となる。ヨセフは献酌官長に、夢が実現したときには自分のことを思い起こして監獄から出られるようにと願ったが、献酌官長はヨセフのことを忘れてしまった(23)。ヨセフは願いがかなわなかったのが最初は落ち込んだだろう。しかし、神様の取り扱いを受けている彼は、神様の恵みと導きをなおも信じた。

祈り 神様、願いがかなわないとき、心が落ち込み、あなたに対して不信を抱きそうになります。そんなときでも「全ての営みに時がある」ことを覚え、あなたの最善を信じていることができますように。